

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	長野森紙業株式会社 塩尻事業所					
代表者名	氏名	青木 和夫	役職名	事業所長		
主たる事務所の所在地	長野県塩尻市大字広丘高出2001番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	1432 段ボール製造業				
主たる事業の概要	段ボール製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3543	3437	3511	3372	3232
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7055	6843	6998	6724	6469
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	21		21	21	21
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	77				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	長野森紙業(株) 塩尻事業所 8:00～17:00 総務部 0263-52-1291
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

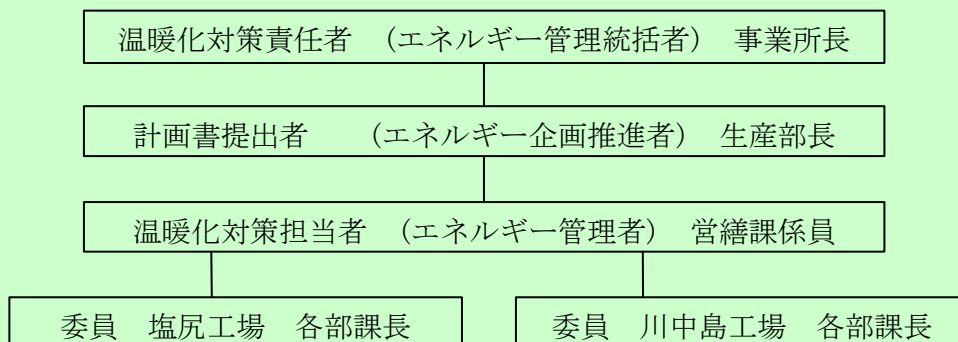
様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

我社は環境保護の重要性を認識するとともに、「段ボール」という環境面で優れた商品を通じて、地球環境の保護と従業員及び住民が豊かで健康的な生活を送れる様に、企業活動のあらゆる面で環境に配慮し、限りある資源を大切に使い、未来に夢をもてる地球と社会の実現に向けて、従業員の英知を結集し、積極的に社会に貢献する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

経済産業省が定める省エネルギー法による 長野森紙業 省エネ委員会 に順ずる。



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ委員会 (2回/年)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,055	t-CO ₂	生産数量	2,505.00	単位	十萬㎡	
28年度	調整後排出量	7,034	t-CO ₂	基準原単位	2.82	t-CO ₂ /	十萬㎡	
目標年度	目標排出量	6,843	t-CO ₂	目標原単位	2.74	t-CO ₂ /	十萬㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	エネルギー起源二酸化炭素の基準排出量におきましては、当該工場は生産工場になりますので、生産数量によって増減してしまい設定することが難しいです。国が求める省エネ法に準じて行動をしていけば、年1%のエネルギー削減（原単位ベース）が求められておりますので、エネルギー起源二酸化炭素も年1%削減できると考えます。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量	6,998	t-CO ₂	生産数量	2,507.20	単位	十萬㎡	
	調整後排出量	6,972	t-CO ₂	原単位	2.79	t-CO ₂ /	十萬㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	0.80	%	削減率	1.06	%		
排出量等の増減理由	塩尻事業所において、設備更新、倉庫照明のLEDへの更新および蒸気ボイラーのドレン回収ポンプの破損(平成29年2月～6月)を補修したことで、設備の生産バランスの改善、電気と熱効率の改善ができたため、排出量および原単位の削減が達成できました。							
第二年度	排出量	6,724	t-CO ₂	生産数量	2,543.57	単位	十萬㎡	
	調整後排出量	6,703	t-CO ₂	原単位	2.64	t-CO ₂ /	十萬㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	4.69	%	削減率	6.38	%		
排出量等の増減理由	2017年11月にボイラーの給水制御弁を修理し、過給水が無くなったことで燃焼効率が改善し、LNG消費量が前年比7%削減されたことで、原単位も6.38%改善することができました。							
第三年度	排出量	6,469	t-CO ₂	生産数量	2,512.71	単位	十萬㎡	
	調整後排出量	6,444	t-CO ₂	原単位	2.57	t-CO ₂ /	十萬㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	8.30	%	削減率	8.86	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	蛍光灯や水銀灯の照明設備をLEDに置き換え、空調設備を高効率品へ更新し、ボイラー燃料をLNGから都市ガスに置き換えたことで、LNGサテライト設備の利用を停止したことなどから、全体として前年比3%以上の電気使用量の削減が進んだ為、前年に引き続き目標以上の削減率が達成できた。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	77	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	370799 設備更新、生産の効率化	29	14	29	14
2	エネ起	380752 LEDの導入(倉庫)	29~30	13	29	11
3	エネ起	370799 設備更新	30	5	29	5
4	エネ起	380752 LEDの導入(塩尻事業所、800灯)			30~31	43
5	エネ起	380752 LEDの導入(川中島事業所、200灯)			31	16
6	エネ起	329999 LNGサテライト設備停止 (ボイラー燃料変更 LNG→都市ガス)			31	8
7	エネ起	330299 エアコン更新(効率の向上)			31	12
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	21		26	21	25
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	6,928	1	6,868	1	6,608	1	6,373
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	127	1	130	1	116	1	96
合計	2	7,055	2	6,998	2	6,724	2	6,469

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	4	4	4	4
合計	4	4	4	4
自動車総数	21	21	21	21
次世代車導入割合	19	19	19	19

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	該当せず
その他	該当せず

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	該当せず (マイカー通勤率 98%)
公共交通機関の利用促進	該当せず
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	複数の荷卸先への混載輸送の実施

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO 14001	平成16年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	ダンボール製造工程で出る小巻半端原紙を巻き直し、ダンボール製造に再利用するためのワインダー装置を導入。故紙の削減による廃棄物(紙のリサイクルエネルギー)の削減に努めています。
第一年度実績	平成29年1月末に導入したワインダー装置により、前年度比135 tの半端原紙(紙)の廃棄を削減しました。
第二年度実績	2017年1月末に導入したワインダー装置により、前年度比254kgの半端原紙(紙)の廃棄量を削減しました。
第三年度実績	2017年1月末に導入したワインダー装置により、半端原紙(紙)の廃棄量削減に努めた。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	コンプレッサーの更新	30
その他		